

平成25年2月14日

杉並区議会議長
井口 かづ子 様

清掃・エネルギー対策特別委員会
委員長 脇坂 たつや

清掃・エネルギー対策特別委員会活動経過報告書

清掃・エネルギー対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 活動年月日

平成24年12月5日 報告聴取

2 活動経過

以下のとおり2件の報告を聴取した後、質疑応答を行った。

(1) (仮称) 杉並区地域エネルギービジョンの検討状況について

庁内検討組織である検討委員会と区民、学識経験者、事業者等から成る懇談会を2回ずつ開催して議論を行い、挙げられた課題を次の3つの分野に分けて、それぞれに主な論点、考えられる目標(案)、早急に取り組むべき課題、実現に向けての役割分担の整理を行ったとのこと。

① エネルギー創出と省エネ・蓄電の分野

主な論点としては、区民の安心・安全を確保する観点から、地域で再生可能エネルギーや自家発電などでエネルギーを創出し、その上で省エネを進めること、災害時や電力のピークシフト対策のために蓄電を進めていくこと、現在建て替え中の杉並清掃工場のごみ焼却発電や排熱の利用などが挙げられているとのこと。

考えられる目標(案)については、平成33年度のエネルギー消費量の平成21年度比の削減率の設定等が挙げられているとのこと。なお、二酸化炭素の排出量は目標として挙げていないが、これは、当面ベース電源が火力発電に頼らざるを得ない状況が続くことが想定され、それに伴い二酸化炭素排出量が増加することや電力の二酸化炭素排出係数は今後の再生可能エネルギーの導入状況にも影響を受けて動向の見通しがつきにくいことによるものであ

るとのこと。

早急に取り組むべき課題としては、地震対策などを視野に太陽光発電機器設置助成の継続及び拡大の検討などが挙げられているとのこと。

役割分担については、区民と事業者、利用機関、介護施設などとの協働、国や都の助成の活用などが挙げられているとのこと。

② スマートコミュニティづくりの推進の分野

主な論点としては、エネルギーと情報通信技術を組み合わせて地域社会の中で電力を融通し合ったり、エネルギーの使用状況をモニターすることで安否確認等が可能になるといった次世代型の省エネのまちづくりを行うことや、住宅やビルなどの省エネ化が挙げられているとのこと。

目標（案）については、スマートコミュニティ化により、誰もが安心して暮らせるまちづくりなどが挙げられているとのこと。

早急に取り組むべき課題としては、建築物の低炭素化の推進の検討などが挙げられているとのこと。

役割分担については、区、区民、事業者との協働や、国による建築物の低炭素化基準作成などが挙げられているとのこと。

③ 区民への情報提供と自主的な参加促進の仕組みづくりの分野

主な論点としては、区民への適切でわかりやすい情報提供や、区民出資により地域内でエネルギーと区民の富とが循環する仕組みをつくることで、エネルギー施策への自主的な参加促進を図ることが挙げられているとのこと。

目標（案）については、相談・啓発事業の拡大や、区民参加型のファンド等の検討が挙げられているとのこと。

早急に取り組むべき課題としては、「新しい公共」支援モデル事業による情報発信、省エネ・節電相談啓発事業の拡充の検討が挙げられているとのこと。

役割分担については、NPOや金融機関等との協働などが挙げられているとのこと。

今後のスケジュールは、次のとおりとのこと。

平成24年12月～	(仮称) 杉並区地域エネルギービジョン中間のまとめ、 区民アンケート、意見交換会、アイデア募集の実施
平成25年 3月	(仮称) 杉並区地域エネルギービジョンのまとめ
4月	パブリックコメント募集
5月	(仮称) 杉並区地域エネルギービジョン策定
6月	区議会等への報告

(2) 杉並清掃工場建替工事について

杉並清掃工場の建替工事については、平成24年8月3日に総合評価一般競争入札方式で入札が行われ、契約の相手方は日立造船・奥村組特定建設工事共同企業体に決定したとのこと。9月27日に、契約金額263億5,500万円で契約を行ったとのこと。

解体工事の説明会については、高井戸区民センター内で12月7日及び12月9日に予定しているとのこと。周知方法については、チラシの配布、広報等により行うとのこと。

今後のスケジュールは次のとおりとのこと。

平成25年	2月～27年3月	解体工事（地上部・地下部）
26年11月～29年9月		建築工事、プラント工事、外構・植栽工事
29年10月		竣工・稼働

以上

